



縄文時代を知ろう

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、ここらあたりに「井戸尻文化」または「勝坂文化」と呼ばれる独特な文化がありました。多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地で発見された、石器、土器、土偶などから、その文化に触れ、現在の縄文時代像にいたるまで学んでいきます。
 今回は当時のカミさま(精霊)の色々な表情から「井戸尻文化」に迫ります。

講師紹介 藤森寛行 (ミシャグジ探偵) ・ 日野市立児童館勤務
 早稲田大学文学部卒業。故郷諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism (スワニズム) 諏訪信仰と中央高地の縄文時代について研究、『スワニズム』連載。
 多摩の勉強会「タマベン」講師。日本在来馬の繁殖育成、調教師。



海戸遺跡 長野県岡谷市

二宮遺跡 あきる野市

講座のテーマ カミさまは笑っているのでしょうか？

- ① 4 / 17 (土) カミさまがいる場所
- ② 5 / 15 (土) カミさまの豊かな表情

時間 10時～12時
場所 社会教育協会「ゆうりか」
 (JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)
受講料 3,960円 (2回)
申込み 下記の電話か FAX でお願ひします
 TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626
対象 どなたでも

旧石器・縄文の旅 諏訪と八島ヶ原湿原 予定
 6月6日(日)・7日(月) 1泊2日 ※別紙ご案内

主催 公益財団法人 社会教育協会
 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデラビル 3階
<http://www.zaidan-shakyo.org>

